

高知くらしの護身術

211

節電対策の扇風機

使用前に点検を

(2011年6月14日掲載原稿)

東日本大震災のため電力の供給が落ち込んでいます。このため、国は「夏期の電力需給対策」をまとめました。

これに基づき、家庭で取り組んでいただきたい節電対策メニューの一つとして「無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使いましょう」という呼びかけをしています。

一方、扇風機の事故報告が消費者庁には多数寄せられています。その内容は、扇風機の発煙・発火・過熱等に関するものが最も多く、次いで、製品破損に関するものとなっています。

長年使用している扇風機は、熱・湿気・ホコリなどの影響により、内部部品が劣化し、発煙・発火しやすくなっている恐れがあります。

扇風機の使用に際しては、次の点に気をつけましょう。

羽根・羽根カバーに破損はないか、羽根の回転が異常に遅かったり不規則ではないか。回転するときに異常な音や振動はないか。

使用中、モーター部分が異常に熱くないか。焦げくさかったり煙が出たりしないか。

電源コードが折れ曲がったり破損したりしていないか。コードを触るとファンが回ったり停止したりしないか。

スイッチを入れてもファンが回らないようなことはないか。

以上のような点検を行い異常があった場合、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いた上で修理を行うか、適切に廃棄してください。

また、子供が羽根カバーの隙間から指などを入れてケガをしないように周りの大人は注意してあげましょう。